

令和元年度 富良野市子ども通園センター 事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果

職員総数 8名

※評価点算出方法→はい(3点)、どちらともいえない(2点)、いいえ(1点)とし総計を出し職員数の8で割った点数

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1.6	引き続きパーテーションを利用して適切な空間を確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	1.8	利用児数に合わせた職員配置を継続して対応していきたいと考えます。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2.1	ワンフロアではないため完全なバリアフリーは難しいです。視覚的情報を示すことで情報伝達を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	施設の状況に応じて、修繕を行い少しでも良い環境を取り入れていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	2.3	引き続き月2回～3回の会議の中で取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2.7	昨年の保護者様の保護者等の自己評価より改善を図りました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1.8	ホームページにて公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1.7	今後必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2.7	今後も各種研修会に参加していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	半年に1回面談の中で保護者のニーズを把握し更に職員間で見直し計画書に反映しています。
	11	子どもの発達状況を理解するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2.7	お子さんの状況に合わせて計画的にアセスメントツールを利用し、療育に活かしていきます。
	12	児童発達支援計画には子どもの支援に必要な項目や、具体的な支援内容が設定されているか	2.8	計画書は保護者が分かりやすい言葉で、わかりやすい具体的な目標設定を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2.8	支援計画に沿った支援を行っていますが、お子様の状態に合わせてその都度修正して取り組むこともあります。
	14	集団指導を行う場合、活動プログラムの立案をチームで行っているか	2.8	毎月グループ会議を開き活動プログラムの振り返りと翌月の立案を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2.7	専門支援を受けることや、研修会に参加することで、固定化しないよう取り組んでいます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	保護者に必要性を理解してもらい、子どもの状況に合わせてその都度個別療育、集団療育を組み合わせを行っています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2.3	決まった時間を確保するのが難しいですが、意識して事前の打ち合わせ、終了後の振り返りを行い職員間で共有していきます。
	18	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2.2	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2.8	療育終了後は必ず、記録をとっています。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	半年に1回保護者、相談支援員とモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。

	チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2.6	基本的にはお子さんに直接関わっている担当者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2.7	「あそびの教室」を開催したことで関係機関と連携し保護者支援に取り組むことができました。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	幼稚園・保育所への移行支援や就学時の引継ぎ等で小学校との共有がありますが、就学後の連携は少ないと思われませんが、作業療法士、言語聴覚士が学校訪問に参加しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2.6	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2.6	上川管内の通園センターと年に2回研修会を行い、情報交換や勉強会に参加しています。
	28	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1.7	自立支援協議会の部員として参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	半年に1回のモニタリングを行うことと、日々の療育の中で共通理解を持つことに努めています
	30	保護者に対して家族支援、兄弟支援を行っているか	2.6	保護者から相談があった時は対応させていただいています。
保護者への説明責任等	31	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2.6	契約時に説明させていただいています
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2.5	作成、または見直した計画書は必ず保護者様に確認していただき、お渡しさせていただいています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2.8	相談があった時は、保護者様の思いを受け止めながら、解決の方法を一緒に考えさせていただいています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1.7	集団療育児の保護者交流会は開催していますが、個別療育児の保護者交流会を考えていきます。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2.6	相談や申し入れがあった時は迅速に対応できるように努めていきます。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	なかよしだよりを月1回発行しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2.7	個人情報には外部に漏れることがないように注意して行っています。また他機関に情報をお伝えする時は必ず保護者様からの了解を得ています
	38	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2.7	環境を整えることや視覚的な情報を利用しています。
	39	事業所の行事に地域住民も対象とする等地域に開かれた事業運営を図っているか	1.1	地域住民が参加できる行事等は行っていますが、実習生を受け入れています。

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	マニュアル等は作成していますが、周知がされていないので検討していきます
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	年間火災訓練が3回、水害訓練が1回行っています。今年度は職員向けに不審者対応訓練を行いました。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	2.5	契約時には確認をさせていただいています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1.8	指示書に基づく対応を行います。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1.6	ヒヤリハットの事例集の作成を検討します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2.5	今後も施設を利用されている保護者、お子さんの不利益とならないよう、研修会等に参加していきます。